



2026年5月13日

各位

会社名 昭和鉄工株式会社
代表者名 代表取締役社長 日野 宏昭
(コード番号 5953 福証)
問合せ先 取締役常務執行役員 尾島 孝則
(TEL 092-933-6391)

新中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社グループは、2026年度から2028年度までの3ヶ年における新中期経営計画「責任ある未来に向けて、地球環境・社会・経済・文化の調和に貢献」を策定しましたので、その概要について下記のとおりお知らせいたします。

記



1. 策定の背景（振返り）

当社グループでは、2023年度から2025年度までの3年間、中期経営計画「人財戦略・事業戦略を一貫させた強い昭和鉄工で持続的社會への一翼を担おう！」を掲げ、社是である「誠実を造り、誠実を売り、誠実をサービスする」を根幹に全社共通の価値観としてミッション・ビジョン・バリューを再構築し、これまで当社の長い歴史を支えてきたモノづくりへの想いと熟技術の探求へ原点回帰する一方で、直面する社会や環境の様々な課題に取り組んでまいりました。

「リバイバルSHOWA」「サバイバルSHOWA」の各重点課題を着実に実践してきた結果、2023年度から2025年度の各計画当初の連結数値目標（売上高、営業利益率）について、いずれも達成することができました。

今般、前中期経営計画の振返りを踏まえ、改めて、ミッション・ビジョン・バリューを基に2040年のありたい姿を俯瞰しながら、当社グループの進むべき方向性の議論を重ね、新たに中期的に目指す姿を見定めました。

2. 策定の目的（目指すゴール）

2026年度から2028年度の3年間で当社グループが目指すゴールは、『サステナブルSHOWA 責任ある未来に向けて、地球環境・社会・経済・文化の調和に貢献』です。

「リバイバルSHOWA」「サバイバルSHOWA」を経た当社グループが熱技術をベースとしたモノづくり・コトづくりを探求し続けることによって持続的な成長を遂げ、当社グループのミッションである「情熱技術で、ミライをカタチに。」を果たすべく、環境・社会をより豊かで健全に再生する一助となるよう努めてまいります。

3. 新中期経営計画の概要

(1) 連結数値目標

(単位：百万円)

	2025年度 (2026年3月期) 【実績】	2026年度 (2027年3月期) 【目標】	2027年度 (2028年3月期) 【目標】	2028年度 (2029年3月期) 【目標】
売上高	15,071	15,500	16,500	18,000
営業利益	1,334	1,200	1,300	1,600
営業利益率	8.9%	7.7%	7.9%	8.9%

(2) 重点課題



【サステナブルSHOWA】
責任ある未来に向けて、
地球環境・社会・経済・文化の調和に貢献

① データドリブン経営の推進

- 原価・在庫・売価管理と与信・債権管理の強化による経営効率の向上
- 外注管理・協業体制の最適化による持続可能なサプライチェーンの構築と収益率の改善
- 顧客からのフィードバックやデータ分析に基づいた生産工程・品質不良コントロールと品質マネジメントシステムの構築
- 人事制度の再構築とタレントマネジメントによる人財の最適配置と事業戦略の実現
- 三線モデル（事業部門・管理部門・内部監査部門の統制・連携・協働）による統合的なリスク管理と価値創造の支援

②DX（組織風土改革）とFA（働き方改革）の加速

- データ分析基盤の整備による業務プロセスの標準化とAI技術を含めたデータ活用文化の醸成
- 最新設備の導入による生産工程の集約とロボット化の促進による生産性向上

③志ある自律人財の育成

- ミッション・ビジョン・バリューの体現による判断軸の強化と組織文化の醸成
- 階層別教育の強化による全社能力向上とサクセッションプランによる持続的成長・安定経営の実現

④ライフサイクル型事業の加速

- CN（カーボンニュートラル）を推進する高効率ハイブリッド給湯システムの設計提案
- ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）加速化に対応した省エネ・新冷媒空調製品のラインナップ拡充
- 顧客要望とIoTデータを融合した熱源・空調機器の省エネ最適化トータルソリューション（省エネリファイン）の提案強化
- ライフサイクルコスト抑制の施工・耐久性を実現した橋梁用多目的フェンスや街づくりをデザインする景観・街路製品（車止め等）の拡販

⑤サステナブル製品・事業の探索

- GX（グリーントランスフォーメーション）に向けた新エネルギー適応製品の開発
- 半導体製造市場向け加熱装置の開発提案・拡販体制の構築と特殊電気ヒーターの新規顧客開拓

以上

※補足資料：新中期経営計画【2026～2028】

新中期経営計画

【2026～2028】

2026年5月13日



【福証：5953】

I. 前中期経営計画の振り返り

- ①重点課題
- ②数値目標・実績
- ③取組事例

II. 新中計の策定に向けて

- ①昭和鉄工の理念
- ②ありたい姿の検討

III. 新中期経営計画の概要

- ①重点課題
- ②取組内容
- ③数値目標

人財戦略・事業戦略を一貫させた

2023-2025 中期経営計画スローガン
SHOWA

「強い昭和鉄工」で「持続的社會」への一翼を担おう!

リバイバル
Showa

サバイバル
Showa



【リバイバルSHOWA】

人財戦略と事業戦略が一貫した“強い昭和鉄工”の実現

1. 事業運営と管理運営の抜本的見直し（データドリブン経営）
2. 組織風土改革と自律人財の育成（人財第一主義経営）

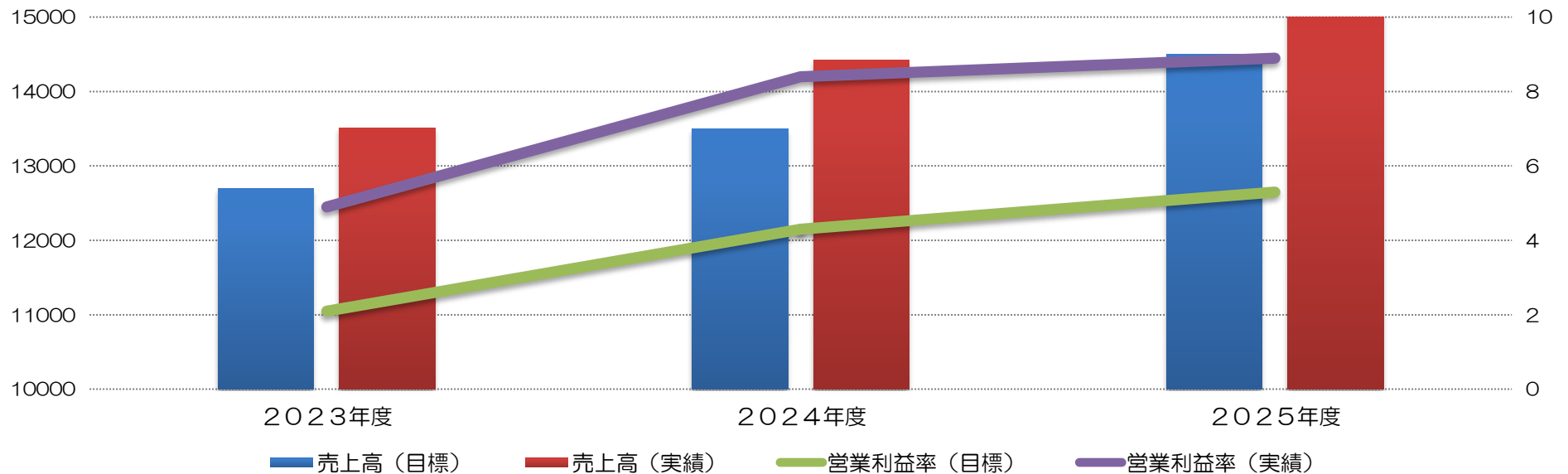
【サバイバルSHOWA】

強い昭和鉄工が一翼を担う“持続的社會”の実現

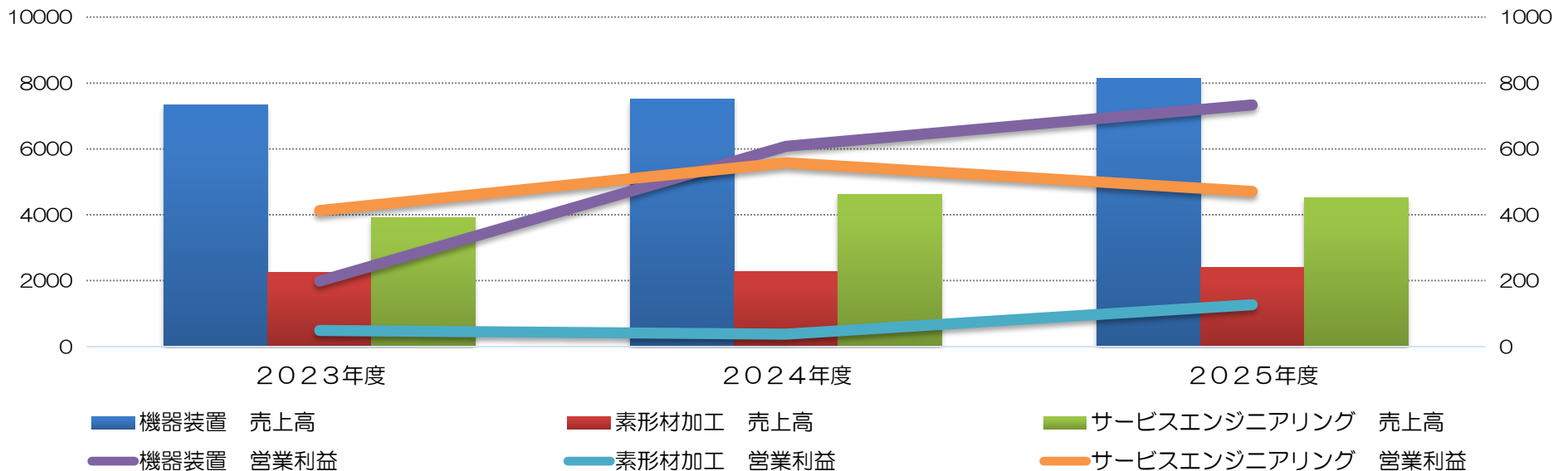
1. ライフサイクル型事業の推進
2. サステナブル新商品の創出

連結 数値目標・実績

	売上高 (百万円)		営業利益 (百万円)		営業利益率 (%)	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
2023年度	12,700	13,515	270	662	2.1	4.9
2024年度	13,500	14,420	575	1,205	4.3	8.4
2025年度	14,500	15,071	765	1,334	5.3	8.9



セグメント別 数値実績						
(百万円)	機器装置事業		素形材加工事業		サービスエンジニアリング事業	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
2023年度	7,341	199	2,255	49	3,917	413
2024年度	7,519	608	2,271	38	4,630	558
2025年度	8,146	734	2,399	127	4,525	471



■取組事例2 FA推進（新設備導入等）



宇美工場にパンチレーザ複合加工機や板金加工設備、古賀工場に縦型マシニングセンター、三次元測定機や砂型鑄造設備を導入・更新しました。
新設備の導入や更新を推進することで、作業の安全性向上に加え、工数の低減や業務の属人化を解消し、働き方改革にも繋げました。

パンチレーザ複合加工機



板金加工設備

縦型マシニングセンター



三次元測定機



■取組事例3 DX推進

工場から事務所まで、全社でDXを推進しました。各種ITツールや先進事例を学ぶ「DXアカデミー」を開校したほか、工場内管理にタブレットを導入し、図面・点検記録・作業日報等の電子化を整備しました。また、製造治具の製作、製品の試作検討、サービスの現場調査・管理等において3Dプリンター、3Dレーザースキャナー、三次元測定機、ドローンなどの各種デジタル技術を活用しています。

DXアカデミーの開校



工場内のタブレット導入



各種デジタル技術の活用



■ 取組事例4 SDGs

持続可能な社会の実現とCO₂排出量の削減に向けた取組みの一環として、宇美工場（本社棟・B工場）や古賀工場に太陽光パネルを設置しました。今後も、さらなる環境配慮の工場を目指し、省エネ対策を推進していきます。



宇美工場（本社棟）
最大出力50kW

宇美工場（B工場）
最大出力150kW



古賀工場
最大出力100kW



■ 取組事例 5 健康経営

当社では、社員の健康増進や生産性・企業価値向上を目的とした健康経営に取り組んでおり、健康管理用ウェアラブル端末の配布や、新たな福利厚生サービスの導入を行いました。
 これらの継続活動が評価され、「健康経営優良法人2025・2026（大規模法人部門）」の認定を受けています。



ウォーキングイベントの実施





■ 取組事例 6 コンパクトエアハンのモデルチェンジ

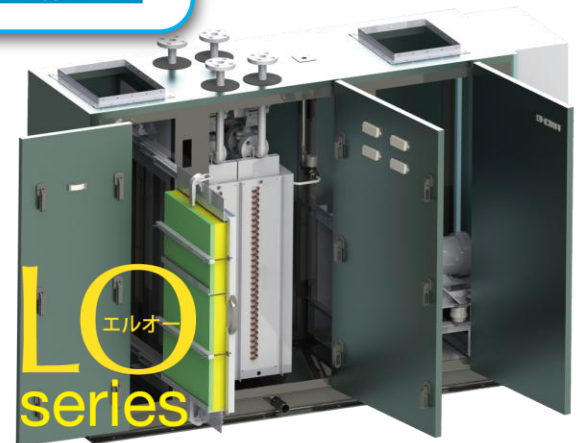
コンパクト型エアハンドリングユニットLOシリーズは、空調性能や制御面を大幅にブラッシュアップしつつ、薄型・コンパクト化を実現しました。
「スイングオープンドア」や「スライドアウトフィルター」など当社独自の機構を採用することで、作業者の負担軽減や時間短縮等のメンテナンス性も追求しました。



SHOWAの空調機メンテナンスの新提案

スイングオープンドア & スライドアウトフィルター

SWING OPEN DOOR SLIDE OUT FILTER



モデル
チェンジ
NEW
COMPACT
A.H.U

コンパクト形
エアハンドリングユニット
LO series
エルオー



■取組事例7 ステンレス製プレート熱交換器搭載 業務用エコキュートの開発

従来機の性能を維持しつつ、より安心かつ快適な使用を目指して開発した本製品の最大の特長は、耐食性に優れたステンレス製のプレート熱交換器を用いたことで、水道水・井戸水など幅広い水質に対応可能です。また、独自設計の冷媒回路により、ステンレス採用に伴う熱伝導率の課題を克服し、冬期・着霜期にも十分な加熱能力を発揮します。省エネ性と耐久性を両立させた付加価値が高いコンパクトな製品をラインナップに加え、サステナブルな社会貢献に努めています。



NEW
ステンレス製
プレート熱交換器搭載
Heat Pump Unit
15kW

熱交換器が

ステンレスだから腐食に強い!

熱交換器が

ステンレスなのに高効率!

※「エコキュート」は関西電力株式会社の登録商標で、「エコキュート」の名称は電力会社・販売メーカーが推奨する自然冷媒ヒートポンプ給湯機の変称です。



SHOWA
業務用

エコキュート

ステンレス製プレート熱交換器搭載 SSHP-15A



■ 取組事例 9 マルチハイテンプオーブンの開発

半導体のキャリア材の熱処理工程において、マルチな用途に対応できる半導体後工程用の熱風循環式電気炉を開発しました。これからもお客様の技術的課題（生産プロセスの汎用性・省エネ性・品質安定性等）の解決に貢献します。

半導体後工程用「熱風循環式電気炉」

マルチハイテンプオーブン

Multi Hitemp Oven for semiconductor manufacturing

SFC シリーズ

**MULTI
HITEMP
OVEN**





■取組事例 10

景観製品（アーバネクスシリーズ最新モデル）の市場展開

デザイン性と機能性を融合した鋳鉄製街路柵「アーバネクスFBタイプ」と鋳鉄製デザインボラード「アーバネクスBDタイプ」を発売しました。

「FBタイプ」はシャープな台形断面の採用により強度の確保と軽量化を実現した横断防止柵と転落防止柵です。「BDタイプ」は強靱なダクタイル鋳鉄の一体成型により耐久性やコスト抑制を発揮する車止めです。

歴史的景観から都市部の近代的空間まで、幅広く調和する街づくりの新たな選択肢を提供していきます。



■取組事例11 ショールームの公開



宇美工場内にショールームを整備し、公開しました。
 本ショールームは、当社の「はじまり」を伝えるヘリテージゾーンと、現在及び「これから」の取組みを紹介するプロダクツゾーンの2つのエリアで構成されています。
 当社の過去・現在・未来に触れ、時代とともに拡張してきた熱技術やモノづくりに対する想いを感じていただけます。



ヘリテージゾーン



プロダクツゾーン

【社是】

誠実を造り、誠実を売り、誠実をサービスする

昭和鉄工のDNA

【会社農場論】

すなわち会社は農場である。
経営者と従業員が一体となって工場を愛し、
よい種を蒔き、よい肥料を施し、よく手入れをすれば、
必ずや豊かな稔りを得ることができる。
そしてその収穫を皆で公平に分け、豊かな家庭を営み、
さらに立派な工場に育てれば、
ひいては社会に対し奉仕と貢献をすることができる。
また農場は一時的なものではなく、
過去から未来へとつながる永続的なものである。
工場もまた然りである。

【Mission】

情熱技術で、ミライをカタチに。

【Vision】

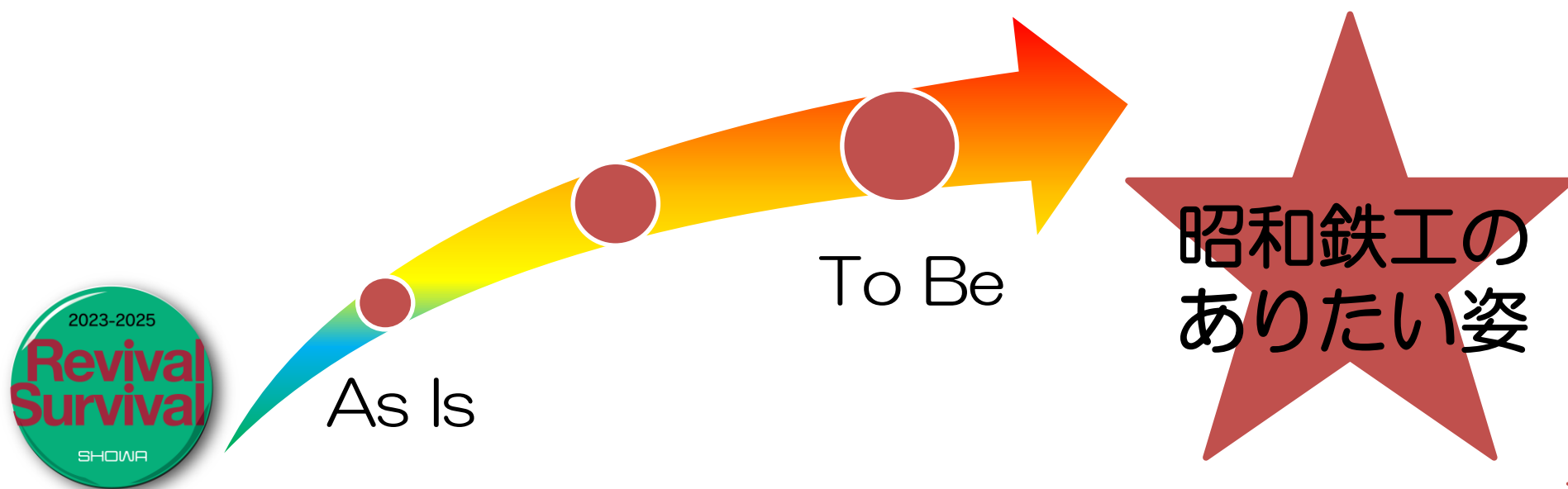
社員の誇りと幸せ
顧客の満足と信頼
社会への貢献
適正利益の追求

【Value】

- 1 誠実に、謙虚に、信念を貫く。
- 2 情熱と好奇心で、学び続ける。
- 3 創造と挑戦で、価値を見出す。
- 4 率先励行で、やり遂げる。
- 5 フェアに、自由闊達に、議論を深める。
- 6 チームワークで、夢を実現する。
- 7 報連相・5W1H・三現主義・PDCAを基に、変革する。

■【リバイバルSHOWA】【サバイバルSHOWA】の3ヶ年を経て、「As Is」から「To Be」へ、次世代リーダー層の選抜メンバーで、当社の未来に向けたビジョン検討会を実施しました。

【昭和鉄工の理念】をベースに、15年後の2040年ありたい姿を見定め、検討内容を役員層に発表し、新中期経営計画の策定に活用しました。





責任ある未来に向けて、
地球環境・社会・経済・文化の
調和に貢献

Sustainable

サステナブル
Sustainable SHOWA

SHOWA



2026-2028 中期経営計画スローガン

【サステナブルSHOWA】

責任ある未来に向けて、
地球環境・社会・経済・文化の調和に貢献

1. データドリブン経営の推進
2. DX（組織風土改革）とFA（働き方改革）の加速
3. 志ある自律人財の育成
4. ライフサイクル型事業の加速
5. サステナブル製品・事業の探索

■ 取組内容



1. データドリブン経営の推進

- 原価・在庫・売価管理と与信・債権管理の強化による経営効率の向上
- 外注管理・協業体制の最適化による持続可能なサプライチェーンの構築と収益率の改善
- 顧客からのフィードバックやデータ分析に基づいた生産工程・品質不良コントロールと品質マネジメントシステムの構築
- 人事制度の再構築とタレントマネジメントによる人財の最適配置と事業戦略の実現
- 三線モデル（事業部門・管理部門・内部監査部門の統制・連携・協働）による統合的なリスク管理と価値創造の支援



■ 取組内容

2. DX（組織風土改革）とFA（働き方改革）の加速

- データ分析基盤の整備による業務プロセスの標準化とAI技術を含めたデータ活用文化の醸成
- 最新設備の導入による生産工程の集約とロボット化の促進による生産性向上

基幹システム更新計画
(3ヶ年)

3億円

設備投資計画
(3ヶ年)

前中計
実績15億円



30億円

■ 取組内容



3. 志ある自律人財の育成

- ミッション・ビジョン・バリューの体現による判断軸の強化と組織文化の醸成
- 階層別教育の強化による全社能力向上とサクセッションプランによる持続的成長・安定経営の実現

MVV浸透プロジェクト
SHOWA
MVV AWARD
の開催

外部コンサル活用
経営者人財
育成プログラム
の策定・推進

■ 取組内容



4. ライフサイクル型事業の加速

- CN（カーボンニュートラル）を推進する高効率ハイブリッド給湯システム的设计提案
- ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）加速化に対応した省エネ・新冷媒空調製品のラインナップ拡充
- 顧客要望とIoTデータを融合した熱源・空調機器の省エネ最適化トータルソリューション（省エネリファイン）の提案強化
- ライフサイクルコスト抑制の施工・耐久性を実現した橋梁用多目的フェンスや街づくりをデザインする景観・街路製品（車止め等）の拡販

前中計 “成果物” のグレードアップ

■ 取組内容



5. サステナブル製品・事業の探索

- GX（グリーントランスフォーメーション）に向けた新エネルギー適応製品の開発
- 半導体製造市場向け加熱装置の開発提案・拡販体制の構築と特殊電気ヒーターの新規顧客開拓

研究開発計画
（3ヶ年）

前中計
実績2.7億円



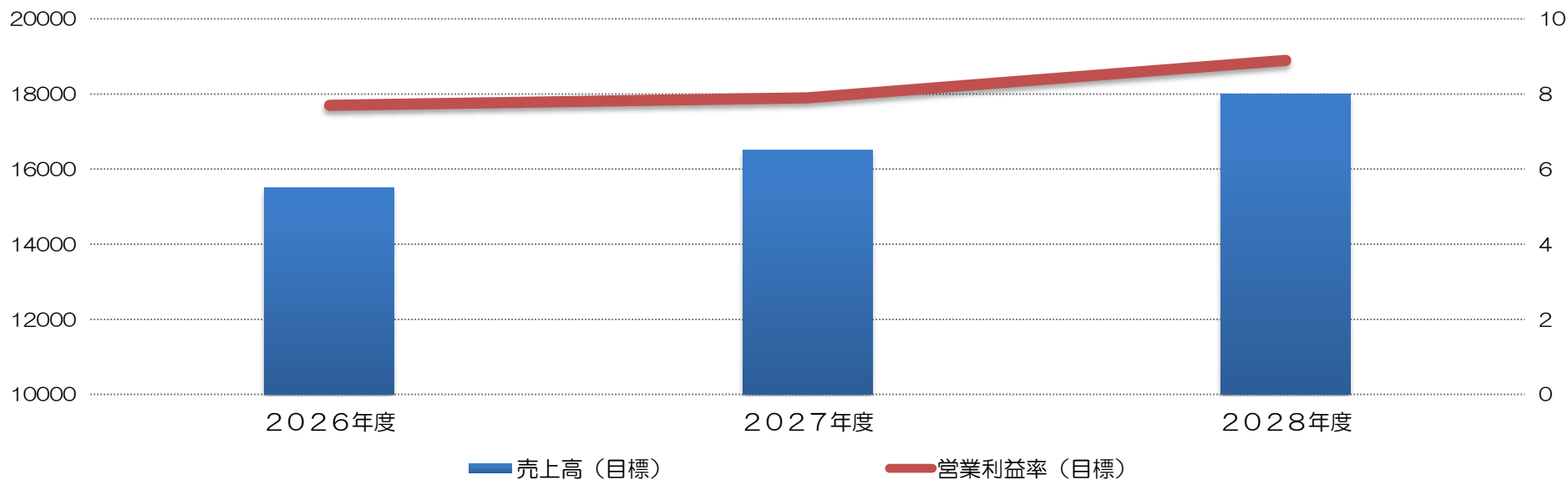
5億円

デジタル・バーチャル
ファブリケーションの
研究・実践拠点

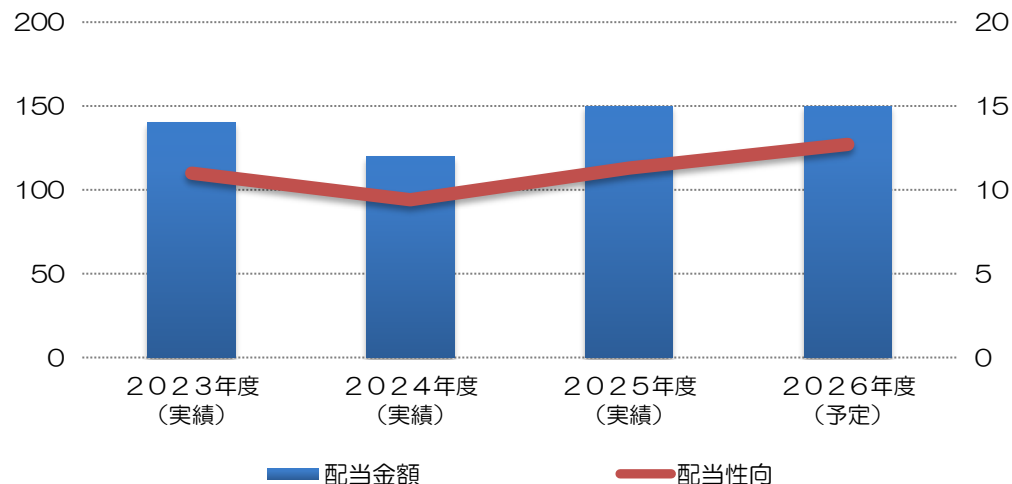
クロスラボ

から価値創出

連結 数値目標			
	売上高（百万円）	営業利益（百万円）	営業利益率（%）
2026年度	15,500	1,200	7.7
2027年度	16,500	1,300	7.9
2028年度	18,000	1,600	8.9



数値実績・予定		
	配当金額 (円/1株)	配当性向 (%)
2023年度 (実績)	140	11.0
2024年度 (実績)	120	9.4
2025年度 (実績)	150	11.3
2026年度 (予定)	150	12.7



配当基本方針

株主の皆様への安定的な配当の継続を最重要課題と位置づけ、加えて、企業業績の他、今後予想される競争激化に耐えうるための経営効率化、新製品開発に備えるための内部留保の充実を勘案

配当性向
15~20%以上
を目指す



本資料に記載されている内容は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は今後の事業環境の変化等、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。